

■中国：政府、再エネ開発などを盛り込んだ西部大開発の新指針を発表

国務院は 2020 年 5 月 14 日、「新時代における西部大開発に関する指導意見（指針）」を発表した。それによると、四川省、重慶市、貴州省、雲南省、甘粛省、陝西省、青海省、寧夏回族自治区、新疆ウイグル自治区、チベット自治区を含む西部地区の開発について、2035 年までに東部地域並みの生活水準の実現を目標に掲げた。エネルギー分野については需給構造の最適化を図り、再エネ開発・利用促進の観点から、西部から東部に向けた送電ルートを増強するほか、黄河流域の揚水発電開発などに基づくクリーンエネルギーの開発を進めることが示されている。このほか、電力系統の増強・更新による需給調整能力および僻地への供給能力の拡充や、石炭の生産と消費の効率化、石油・ガスのパイプライン・備蓄施設建設の推進なども盛り込まれた。